

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月10日

計画の名称	枕崎市における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	枕崎市												
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路の安全対策が必要な箇所の対策を実施し、歩行空間の確保等による安心で快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	700	A	700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 （H30当初）	中間目標値 （R2末）	最終目標値 （R4末）
1	道路管理者による通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 道路管理者による通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合 整備率（%）= 対策を実施した箇所数（箇所）/ 安全対策が必要な箇所数（箇所）× 100	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	(他)深浦大堀線・中央工区ほか1路線	道路改良 L=0.52km	枕崎市						106	-	-	
	A01-002	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	生活道路対策エリア(千代田地区)	生活道路対策	枕崎市						416	-	-	
	A01-003	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	(1)神浦木浦線・西鹿籠工区	道路改良 L=0.34km	枕崎市						68	-	-	
	A01-004	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	(他)街路55号線・日之出工区	道路改良 L=0.18km	枕崎市						31	-	-	
	A01-005	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	(1)街路3・4・4の1号線・恵比須工区	道路改良 L=0.18km	枕崎市						43	-	-	
	A01-006	道路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	市町村道	交安	(他)街路69号線・旭工区	道路改良 L=0.18km	枕崎市						36	-	-	
												小計						700		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期 令和5年度	
	公表の方法 市ホームページに記載	

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路の安全対策が必要な箇所において、歩行空間確保等の対策を実施することで通学路の安全を確保でき、効果の発現が見られる。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）		

特記事項（今後の方針等）

今後も通学路の歩道整備を実施し、通学路の安全確保を目指す。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	33%
		事業が完了した深浦大堀線及び神浦木浦線以外の路線については、令和4年度より交通安全対策（通学路緊急対策）の補助事業へ移行した。